

米国鑑定協会(American Society of Appraisers: ASA)認定講座 「ME206: 在庫評価及び管理の実務」受講生募集要項

(社) 日本資産評価士協会

平素より当協会に対するご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、当協会では全国地方銀行協会及び全国信用金庫協会からの要請を受け、協会員(地銀及び信金)向けのABL 推進の為の教育プログラムを11 月と12 月にそれぞれ実施しました。この実施の背景には、政府及び金融庁によるABL推進に向けた政策の強化に対して、金融機関としても対応の強化を迫られているという背景があると思われます。

このような状況下、協会としましては本年の3月の第一回の開催に続き、ABLを主眼とした「ME206: 在庫評価及び管理」専門講座を、以下の要領で開催することと致しました。

ご存知のようにABLの担保の中心となるのは機械設備と在庫であります。この講座は動産・機械設備の専門分野のコースとして、90年代後半に銀行等の金融機関に対するABLに関連したサービスの提供を目指す評価人の為に開発され、その後改訂を重ねて現在に至っております。在庫評価に関する教育プログラムとしては唯一で、米国ではABL関連の評価人の間で非常にポピュラーなコースです。

本講座では、ABL の担保在庫の検査、評価のノウハウを習得します。具体的には、在庫管理に係る専門用語の定義、実査の準備と実行、管理台帳の見方、評価の為の在庫の仕分け、サンプリング及び統計手法を活用した計量分析手法(在庫ミックスとバランス、将来的な在庫の動向とリスク管理)等のテーマをカバーします。なお、本講座の修了試験合格者に対しては、ASA のCertificate(修了証書)が発行されます。

■ 本コースの目的と受講対象者

このコースは以下のような受講者を対象とし、業務に必要な実践的知識の習得を目指します。

- ・在庫の担保評価・評価書の作成を実施する ABL 融資者・資産評価士、
- ・評価書を活用する立場にある ABL 融資の担当者
- ・資産評価と会計原則との違いを理解する必要がある会計士
- ・資産評価や事業買収にかかわる弁護士 等

■ 日程

3 日間コース(第一日・第二日: 講義とグループ演習 第三日: 修了試験*(3 時間))

- ① 2014 年 2 月 19 日(水)9:00-17:00
- ② 2014 年 2 月 20 日(木)9:00-17:00
- ③ 2014 年 2 月 21 日(金)9:00-12:00

* 修了試験はオプションで、講座の修了証書をご希望になる場合のみ必要となります。また、ASA の評価士資格をお持ちの方の場合、継続教育のクレジットとなります。

■ 開催場所：公益社団法人 東京都不動産鑑定士協会 小会議室

〒105-0001

東京都港区虎ノ門 3-12-1 ニッセイ虎ノ門ビル 6 階 電話番号: 03-5472-1120

・神谷町駅 (東京メトロ 日比谷線) から徒歩 2 分

・虎ノ門駅 (東京メトロ 銀座線) から徒歩 8 分

地図はこちら

http://www.tokyo-kanteishi.or.jp/index/location_and_address

■ 受講料

会員： 70,000 円

非会員 (POV 受講生)： 85,000 円

非会員 (POV 未受講)： 95,000 円

再受講 (過去に ME206 を受講した方。試験・修了証書なし)： 18,000 円

※申込書受領後、請求書を発行の上、振込先等の情報をご連絡させていただきます。

※受講希望者が規定の人数に達しない場合、キャンセルさせていただく場合があります。

■ 講座内容

第一日目：ABL 融資に向けた在庫評価と管理の実務

(1) 在庫、在庫評価の定義 (含む計算演習)

在庫評価に係る専門用語及び各種処分価格 (清算価値) の理解。

(2) 評価案件へのアプローチ

鑑定基準に沿った、評価範囲、機能、目的、用途をする理解、作業内容の見極め。

(3) 情報収集

① 現地調査の前に要請すべき資料・情報

② 現地での情報収集 (現地での調査とヒアリングの方法)

③ サンプルング手法 (多量・多品目の場合の在庫帳票の確認・検査)

④ 在庫状況の把握及びデータの仕分け (評価対象となる在庫の中身の検査)

(4) 事例演習 (グループ作業)

第二日目：ABL 融資に向けた在庫評価と管理の実務 (続き)

(1) 分析と評価作業実務

① 事業の内容・市場の把握

② 原価計算 (各種減価計算法による比較)

③ 減価償却の把握

④ 在庫の構成比とバランスの検証 (回収率等の推定)

- ⑤ 在庫価値の把握
- (2) その他（含む各種練習問題）
 - ① 不測の事態発生時の仕掛品の取扱
 - ② 保有期間—練習問題
 - ③ 製造業の在庫分類と除外 練習問題
 - ④ 事例研究 小売在庫
 - ⑤ 在庫価値と会計原則

第三日目：修了試験 3 時間の予定

■ 講師 リチャード・バークメイヤー ASA 上級鑑定士

【講師略歴】

ASA 機械設備評価委員会委員長 兼 機械設備教育委員会委員長、前 ASA 国際教育委員会委員長

- ・北米を始め、南米各国、中国、香港、オーストラリア、欧州各国、南ア等の世界各国で ASA の機械設備資格講座の講師を精力的に勤め、ASA の国際資産評価士資格の国際的な認知と普及に貢献。
- ・国際鑑定基準委員会(IVSC)や BaselII(銀行自己資本規制)に関する国際会議での意見陳述多数。
- ・シティグループ、GE、シーメンス、Dominion Group(オーストラリア)、Neo-Consulting Group(モスクワ)等の企業に対しグローバルな資産管理トレーニングの指導を行う。

職歴 Citigroup Investment Bank, Vice President (1993-1999)

Fleet Capital Leasing, Assistant Vice President (1984-1993) 等

■ ASAについて

ASA は米国の首都ワシントンに本部を持つ 1936 年創設された、米国の最も古い歴史を有する鑑定教育・資格の業界自主団体で、1987 年の米国鑑定財団(The Appraisal Foundation/TAF)の創設メンバー(8 団体)を主導。現在不動産、動産、機械・設備、事業(含む知財)、美術品、宝石等それぞれの専門分野での評価に関する教育と資格認定を提供している。動産、機械・設備、事業評価の分野に於いては特に高い権威と信用力を誇っており、ASA の鑑定教育・資格は、北米に加え、欧州(東欧を含む)、南米、アフリカ、中国、その他アジア諸国、オセアニア等にて広く受け入れられ、これらの国々における評価のスタンダードとなっている。特に機械設備の分野では、世界で唯一の評価士の認証を与えている国際的に認知された機関である。また、ASA は現在 IFRS に対応した国際評価基準(IVS: International Valuation Standards)の策定作業についても、TAF と共に積極的な役割を果たしている。

■ JaSIAについて

日本資産評価士協会は、グローバル化、IFRS の導入など、新時代を迎えた我が国の会計・企業財務実務のニーズに対応する総合的な資産評価のインフラ創設に向け、教育事業、研究、提言、その他啓蒙活動の実施を目的として、不動産鑑定士、公認会計士、弁理士、学会等の有識者が中心となり、2010 年に設立された非営利の社団法人。その主要事業として、米国 ASA との業務協定により、日本での ASA の資格・教育制度の普及を担っており、動産、機械・設備、企業価値評価(知的財産を含む)の資産評価士育成のため、日本語環境でのトレーニング・試験・ライセンス供与・会員サービス等の提供をしている。また、政府の「知的財産推進計画」に対し意見を具申等を行っている。

協会の目的は、我が国において欧米並みの資産評価という新たな専門的職能を確立し、小口のニーズに対しても安価で信頼性の高い資産評価サービスが提供出来る社会インフラを創設することに寄与することにある。

以上